

リニモテラス公益施設（仮称） 管理運営案について

2019年12月
リニモテラス運営協議会

0. 前提条件の整理 リリモテラス公益施設（仮称）について

●施設整備について

☞ リリモテラスや公益施設はどんなところか。

- ▶ リリモテラスは、まちの“新たな顔”であり、広域交流の結節点(**トランジット**)である。
公益施設は、その中核拠点であり、人や情報の集積所(**ゲート**)である。

☞ これらの場所にどんな機能を求めるのか。

- ▶ リリモテラスには、地域のこれから先を見据えたまちの玄関口の機能を持たせる。
公益施設には、4つのテーマを中心としたまちづくりに関する情報を集めることで、新しいまちづくりの人材を生み出す。

☞ これらの施設を整備する上でポイントは何か。

- ▶ リリモテラスは、計画的にエリア(**駅周辺~古戦場**)を拡大し、一体的に整備する。
公益施設は、複数の機能が有機的(**内と外、グランドレベル**)に結びつくように整備する。

1. 運営管理における基本理念

私たち一人ひとりが主人公として

つながりを力に ともに輝き ともに生み出す

先人のみなさまからの「恩」を受け継ぎ

新たな物語を生み出し

次世代に送っていく

そのために私たちはどこまでもつながり続けます

長久手市は名古屋に隣接する西の約半分は区画整理された住宅地であり、人口が増えていることから、商業施設も多くあって便利です。それに対して東半分は、今も、もともとの農村としてのたたずまいを残していて、自然も人のつながりも保たれているのが特徴です。

新興住宅地では自治会組織の加入率は5割を切っているため、新たなしくみとしての「まちづくり協議会」に新しい自治への期待が集まりますが、現実的にはコミュニティの再生には問題が沢山あります。そんな中、具体的に「つながり」をつくっていく場づくりが切に求められています。

2. 事業目標【この場所の可能性】

人が輝き、緑あふれる交流都市長久手（第5次長久手市総合計画 将来像）
幸せが実感できる共生のまち長久手 ～そして物語が生まれる～（第6次長久手市総合計画将来像）
新たなつながりをデザインする場（リニモテラス公益施設（仮称）整備基本計画施設コンセプト）

リニモテラス事業は、第5次総合計画の主要プロジェクトに掲げたリニモテラス構想を実現させるため、長久手古戦場駅前にまちの新たな顔として「リニモテラス」を整備することです。本事業は、本市における将来の人口減少・少子高齢に対応するための投資的事業であり、個人同士のつながりを含む新たなコミュニティ形成に資するものでもあります。

<公益施設に関連する4つのテーマ>

現在検討を行っている「リニモテラス公益施設(仮称)」(以下、公益施設という。)は、その推進拠点として、「大学連携」、「観光交流」、「多文化共生」、「子育て支援」の4つのテーマを軸にした取組みを想定し、機能や施設設計を考えてきました。

<あらたなつながりを生み出すまちの玄関口>

リニモテラスは、本市のほぼ真ん中に位置し、駅前でもあることから人や情報の往来が盛んです。また、周辺には古戦場公園や博物館・美術館など観光・文化施設もあり恵まれた環境にあります。さらに、モリコロパークでは、現在ジブリパーク構想が進められており本エリアの重要性がいっそう高まっています。リニモテラスをまちの玄関口として、新たな出合いやつながりが生み出されることが期待されています。

2. 事業目標

**市民主体で公益施設を運営し、エリアマネジメントにつなげる
新しい市民社会をつくっていく現場です。**

<官民連携によるエリアマネジメント>

公益施設は、長久手古戦場駅周辺のエリアマネジメントを考える上で不可欠なリーディング施設です。交通の結節点としての立地を活かして、市外からの来訪者や大学生・若者を中心にした多様なつながりを生み出すことで、新しい都市の顔としての魅力ある場の創出が期待できます。

さらに公民連携による自由度の高い運営で、隣接する長久手中央2号公園の効果的な利活用や、古戦場公園・大型商業施設との連携を促進し、にぎわいと多様なつながりを生み出します。

<市民による自主的な運営>

多くの自治体では、現在人口減少により駅前施設や中心市街地の空洞化が叫ばれており、公民連携によるエリアマネジメントが有効な手段であると言われ、市も公設民営による管理運営を方針として掲げています。公益施設においては、リニモテラス構想に関連する団体から集まった市民が自主的に設計・管理運営の検討を行っており、市民主体によるまちづくりの推進を図ります。

3. 運営管理の基本方針

基本方針 1. 誰もが気軽に寄れる長久手の顔

誰もがふらっと訪れることでいろんな人が寄れる場ができます。

そこには多様な価値観をもつ人々がいて、その「違い」をそれぞれ受容することで、何かを始めるきっかけや、支援の場へとつながっていくことを期待します。

基本方針 2. 「つながり×循環」を活かした長久手のまちづくり

周辺施設（イオンモール長久手、中央2号公園、古戦場公園）と連携による長久手らしい新しい形のエリア（リニモテラス）がこの地域に新しい魅力を創出します。それにより、わたしたちや地域で育まれる子どもたちがこのまちで過ごすことに誇りと愛着をもち、このまちと自分を大切に思う気持ちを育みます。

基本方針 3. 4つのテーマの取組で地域で活躍できる担い手を育み隊

将来に起こりうる高齢化、大災害、人口減少に備え、それぞれの学区で充実したつながりが必要となります。リニモテラス公益施設に関連する4つのテーマ（大学連携、観光交流、多文化共生、子育て支援）を軸に、地域のことを考えて進んで行動のできる市民や底支えする担い手を育み合う仕組みや環境を生み出します。

4. 管理運営の検討 1) 先進事例

規模や機能は本事業と異なるが、様々なタイプの民間活用手法をつかった公益施設の事例を挙げます。



南池袋公園

(東京都豊島区／8:00-22:00)

収益施設（カフェ）を誘致し、多様な主体者からなる「よくする会」が公園を運営。カフェは地元の人気飲食事業者を公募により選定。親子連れやビジネスパーソンで平日・祝日共に賑わう。



長池公園

(東京都八王子市／公園24時間
／自然館9:00-17:00)

20haの自然公園と自然館から成る。指定管理者制度の無い時に自然館を実験的に地元NPOに委託した。後に公園全体の指定管理者に選定。行政が地域貢献を行うことのできる事業NPOを育てた好事例として有名。



豊田市東口まちなか広場 拠点施設（とよしば）

(豊田市／収益施設7:00-23:00
／公益施設8:00-22:00)

まちなかのにぎわい創出に向けて、公共空間を活用するプレイヤーを発掘、育成するための施設。収益(カフェ等)、公益(ラボ・スタジオ等)からなる拠点施設と芝生広場からなる。



高蔵寺まなびと交流センター・グルッポふじとう

(春日井市／9:00-18:00
／図書館9:00-20:00)

旧小学校のリノベーションした多世代交流拠点（カフェ、図書館、児童館、地域包括等）。高蔵寺まちづくり(株)(指定管理者)のニーズに応じて更新・修正するきめ細かい運営が特徴。

4. 管理運営の検討 2) 実証実験通して

- 資料1：リニモテラスへの道
- 資料2：実証実験実施報告
- 資料3：平面プランの再提案

市民主体の管理運営の実証実験と検証を重ねました。

やってみようにいてみよう (月4回実施／延べ192人参加)



みんなでチャレンジ (3回実施／延べ1275人参加)



リニモテラスクリーンアップ作戦 (月1回実施／延べ102人参加)



次の課題と展望が見えてきました。

1. 運営の視点から、必要な空間の在り方を再整理し「平面プランの再提案」にまとめた
○建物はいさいが周辺施設の利用次第で「つながり」を広く深くできる可能性は大きい
2. 主体性をもって関わる市民発掘の可能性
○みんなでチャレンジ (3回実施 延べ1275人参加)
○やってみようにいてみよう (月4回実施：延べ192人参加)
○クリーンアップ作戦 (月1回実施：延べ102人参加)
3. 日常的にどんな人が利用しているか
○通勤者、通学者が多い
○親子連れ、犬の散歩
○小学生高学年、中学生の遊び場
4. やってみて見えてきたこの場所の様子
○今まで全く知らなかった人に会える
○まちのことに興味のない人に会える
○2号公園の利用者はリピーターが多い

課題

1. イベントに人がたくさん来てくれることはとても嬉しい。
でも、イベントをやるのが目的化してしまって、結局、ひとり一人とつながることができない。顔がわからない。…これでは、いけない。しかも、イベントに来る人の半数程度が市外の人。場所の利点が浮き彫りになったことは良かった。けれど、もっと市民の方たちと出会うにはどうすればいいだろう。「つながり」を求める声はちらほら聴こえるけれど。
2. 自分たちだけが活動する場所ではなくて、「みんな」のための場所を、どう考えたらいいのだろう。しかも、「公益」って、何をしたら「公益」を「達成すること」になるのか
3. 「つながりなんか、いらない」「困ったときに声をあげればいいんだ」そんな声があった。そう、押し付けられるのはまっぴらごめんって、わかる。わかるけど、でもね、本当に困ったときほど、声が出せない。そんなことをどうやってわかりあえばいいのか。声が聴ける、声が出せる場所を作って維持するしくみが必要である。

4. 管理運営の検討 3) アドバイザー勉強会等

アドバイザー勉強会や事業者ヒアリングを行いました。

アドバイザーによる勉強会

(11/24名畑恵氏)

(12/26 園田聡氏・名畑恵氏)



公益・収益事業の分析 (市民意見整理と事業者ヒアリング)

これまで出された施設の使い方のアイディア等を、時間軸の表にまとめ、公益・収益事業の分析を行った。また表を元にカフェ事業者にヒアリングを行った。



区 分	公益事業		収益事業	
	平日	休日	平日	休日
午前	対象 元気な近隣の高齢者	子どもと一緒にイオン・公園に来る人	子ども(未就園児)と一緒にイオン・公園に来た人	市外からの買い物客、一般の買い物客が休みに来る
	実施内容 読書の読み方や施設管理の講座、定額ランチメニュー提供	子供向けワークショップが頻りに参加して楽しめる本の読み聞かせや、市内のイベント紹介など	子どもとくつろげるカフェ、子ども向けメニューの提供	カフェの話題づくり、美味しい飲み物に注力
	実施主体 観光交流協会・モテラス担当 100円追加	観光交流協会・モテラス担当 子育て支援	カフェの委託業者 観光交流協会会員	カフェの委託業者 観光交流協会・文化の家
	対象 時間があるから、何か参加したいと思っている市民	趣味の仲間(自転車・ペット)が来る	周辺地域の高齢者、カーブス・ベトナムにきた人	中高年が夫婦、ファミリーで来る
午後	実施内容 市民で主催する何かおもしろい学び合う会を定期的な開催	つながりの場の提供	モーニングによるお昼打ちなモーニングを提供する	美味しくて安全なブランチ
	実施主体 観光交流協会・モテラス担当 100円	観光交流協会・モテラス担当 100円	カフェの委託業者	カフェの委託業者
	対象 からと買い物客に寄る人		中高年が子どもと来る	食べ物に心がある中高年
	実施内容 情報の提供や、まちのようすのヒアリング		美味しくて安全なランチの提供	お茶しながら、おしゃべりして休むという楽しみや作り手など。教育講座も作り手提供
午後	実施主体 観光交流協会・モテラス担当		カフェの委託業者	観光交流協会・モテラス担当 100円・観光交流協会会員
	対象 子どもと一緒に、イオン・公園に来る人	イベントを新聞で見た人(新聞が読めない人)	スタイル講座のようなもの	子ども(未就園児)と一緒にイオン・公園に来た人
	実施内容 情報の提供やヒアリング	新聞に掲載された記事の読解、読者の声の提供	お茶とスイーツの提供	屋外も使ったフリーマーケット
	実施主体 観光交流協会・モテラス担当 大学連携・子育て支援 100円	観光交流協会・モテラス担当 大学連携・子育て支援 100円	観光交流協会・モテラス担当 カフェの委託業者	観光交流協会・モテラス担当 子育て支援
夜	対象 小学生が来たらと遊びに来る人	長久手のお店とのイベント	学生・若者	ギャラリースペースの展示
	実施内容 ボトム・アップする楽しさを感じてもらえる場を提供しながら学校のようすをヒアリング		お茶とスイーツの提供	美術作家や日曜画家などへの展示提供
	実施主体 観光交流協会・モテラス担当 大学連携・子育て支援 100円	観光交流協会・モテラス担当 観光交流協会会員	カフェの委託業者	観光交流協会・モテラス担当 文化の家・大学連携 国産交流協会・100円
	対象 学生・若者のボランティアグループの打ち合わせ	特殊なニーズのある人たちの職業とスキルイベントの企画	お酒を飲みたいおしゃべりな人たち	結婚披露パーティーや同窓会、クリスマスなどの企画
夜	実施内容 市民と学生のボランティアグループの打ち合わせ	観光交流協会・モテラス担当 大学連携	観光交流協会・モテラス担当 カフェの委託業者	観光交流協会・モテラス担当 カフェの委託業者
	対象 市民が参加している会議など	市民主催で何かしたいものを企画したい市民	自分たちが読みたい映画や演劇・音楽等の企画案の交換	場所の提供とヒアリングなどの提案
	実施内容 カフェなどを使って開かれた会議にする仕組み			
	実施主体 行政	文化の家		観光交流協会・モテラス担当

次のことが見えてきました。

1. 木造空間の価値の明文化の必要性。

管理・効率化を超える長久手の誇りとして。

2. 段階毎の市民運営の仕組み化。

これまでの長いプロセスが新しい市民管理の可能性をひらいた。

主体性	担い手	役割
強	指定管理者	管理+団体支援+事業
	4団体・運営協議会	テーマ事業型
弱	施設サポーター (施設運営のボランティア登録制度等)	施設での活動のボランティア

3. 公益・収益事業の妥当性を精査する必要性。

・運営に市民力や民間力を生かすことで、豊かな公益事業展開や施設管理の効率化は期待できる。

・豊かな事業収入を見込むことは難しい。

→カフェの事業性は低い(公募で良質な事業は期待できない。)

→就労支援等の福祉事業やチャレンジショップ等の創業支援の側面等の可能性(運営委員会や行政によるコーディネートが必要。)

4. 整備中の事業の具体化に合わせて、空間の詳細デザインと管理運営計画へのおとしこみ。

4. 管理運営の検討 3) ②アドバイザー勉強会等

● 公民連携についてのまとめ

公民連携による管理運営とは何か。

- ▶ 公共施設(公のミッション)を活用した民(企業・市民)による**フレキシブル**な活動。
- ▶ 民(企業・市民)による柔軟な発想と企画力を活かして、公共施設と地域の人的資源を活用した活動を、創出し公のミッションを実現する。

公民連携の管理運営で期待することは何か。

- ▶ 公共ベース(安定)の施設機能を活用した、民の**情報収集能力**や**意欲的な事業**の展開。
連携活用したユニークな運営による**顧客満足度(CS)**の向上と**イメージアップ**。
- ▶ 地域の人材・団体や学生ボランティア、インターンシップなどを活用した社会課題の解決や人材の育成・発掘。

公民連携による管理運営でのポイントは何か。

- ▶ 行政と民の**コンセンサス**による管理運営方針の確認。
相互の役割と**リスクの分担**、**リターン**の確保。

4. 管理運営の検討 4) 見えてきた課題から考えるリリモテラス公益施設 (仮称)の可能性

管理運営方針は何か。

- ▶ 施設管理や貸館でなく、利用者との関係性を前面に打ち出す(**新しいコミュニティへの対応**)。
当面は、リリモテラスでの賑わいを意識し、存在や活動を**可視化**する。

管理運営のポイントは何か。

- ▶ リリモテラス来訪者を誘導するサービスの提供(**ふらっと・カフェ・情報・コンシェルジュ**)。
利用者を意識した事業展開(**バイアス**)。

管理運営で目指すもの何か。

- ▶ 公共施設ならではのミッション(**にぎわい・交流・まちづくり**)の達成。
持続的な管理運営を意識したサービス・事業の提供(**稼ぐ・シナジー**)。

4. 管理運営の検討 5) 課題と展望

①チャレンジ事業（施設の使いこなし企画・提案・実施等）のための事業費の必要性和事業費捻出の工夫について

- ・各テーマ毎の団体の活動及び新しい担い手に対して、運営管理の基本理念等にもとづく、豊かな公共性、創造性等が認められる場合（運営協議会が決定する）事業費を補助できると良い。金額は低く、あくまでもスタートアップ用。
- ・キッチンを活用したカフェ事業等も、チャレンジ事業として位置づけられないか。
- ・新たな担い手を発掘しやすい事業をしかける必要がある。
- ・活動する個人、または団体に対する規定は必要か。登録制は必要か。
→事業計画のとりまとめ、コーディネートが必要。

②カフェ運営について

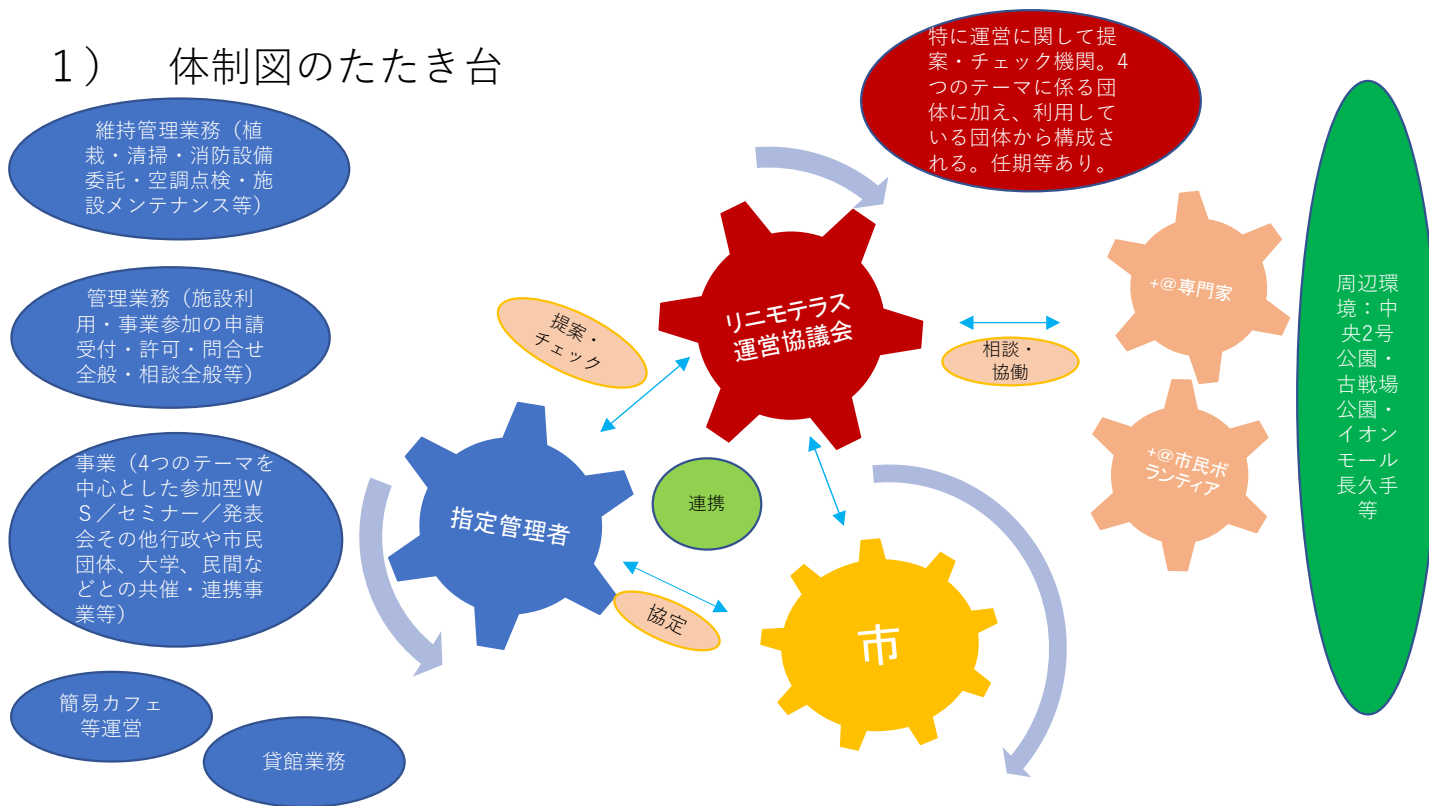
- ・テナント型の公募の場合
 - カフェだけの採算ではなく福祉事業者等の別機能の採算が見込めない限りは難しい。
 - テナント型公募の場合、事業者のリスクが少ない売上歩合方式からはじめる。
- ・「公益・収益分析」を見る限り、各団体の企画系キッチン利用のニーズは高い。
その場合テナント型カフェ事業者との共存は困難である。
 - 各団体や新たな担い手が担当曜日を定める等で企画カフェを運営できないか。
 - また、カフェ事業者でも日時を限定的にすることで運営の可能性はあるとのこと。（ヒアリング）
 - 事業計画のとりまとめ、コーディネートが必要。

③使用料による貸し部屋運営／自主事業による運営のバランスを考えて、目標値を決めることが必要。

5. 管理運営体制図について

より良い管理体制にするために常に協議し、一緒に考える体制を目指す

1) 体制図のたたき台



3) 留意すべき点

①コーディネート（公益性×民間力）機能の重要性

市民力を活かすことを前提とした施設である限り、そのコーディネートには相応の職能の丁寧さが必要である。また、コーディネーターの発掘・育成も重要。

- ・公益事業団体のコーディネートに対する費用
- ・カフェのチャレンジショップ、2号公園でのチャレンジ団体のコーディネート

2) 体制図の補強すべき点

①行政内の組織編制

4テーマに基づく公益事業、収益・公益の考え方、及び中央2号公園を含めた事業を、「一体的に捉えた融合施設」として効率的に運営できる体制を整える。

②+@専門家

計画時の施設コンセプトを持続させ、常に制度・広報面等の修正・見直しを計れるよう、第三者専門家（施設管理・市民参加の識者、広報デザイン、創業支援系識者、計画に携わった設計者等（Ex.須賀川市テッテ）

③+@市民ボランティア

平成30年度に実施したリモテラス運営市民ボランティア発掘業務や、クリーンアップ作戦等の実証実験において一定のボランティアマインドのある市民参加が検証された。新たな担い手の窓口機能となるような制度が必要である。

②指定管理者の評価

新しいタイプの公益施設であるため、指定管理の評価については来館者等の定量的評価だけでなく、「新しい公共」の視点で、条例や制度自体を不断の見直しができる仕組みと姿勢が必要である。

6. 管理運営計画への提案 1) 整備中のプロセス

運営協議会の内容

①管理運営の検討

- ・開館時間、休館日など
- ・愛称、ロゴ
- ・PR業務について（HP、パンフレットの元をつくる）

②事業計画ワークショップ

- ・各テーマの担い手のコアメンバーが
実施可能な事業計画をリアルにつくっていく

③プレイベント・オープニングイベントの計画づくり

- ・運営協議会全員が協力してプレイベントを実施し、
整備後の実証実験とする

7. 4つのテーマに基づく公益事業について

～大学連携～

1. 4大学の学生がそれぞれまたは協働して開催するワークショップや食事会
2. 近隣大学の学生さんの作品を展示
3. 音楽会をはじめとしたパフォーマンス
4. 学生たちが「ここに来ると他大学の学生やその他方々の活動に加われる」というふらっと立ち寄る場所、または少人数の学習、懇談会

～観光交流～

1. 観光案内・販売所
2. おしゃべりくらぶ→コンシェルジュ機能
3. カフェ（店）→飲食交流拠点の実現
4. まちづくり研究会→ブランディング事業等「長久手ファン」を増やすための企画～事業実施

「長久手ファンを増やす」
ため、協力
連携

～多文化共生～

1. 長久手市のアンテナ拠点
（国際交流協会のインフォメーションのできる場所、外国人在住者の相談窓口）
2. 日本語教室が展開できる場所
3. 国際理解講座や交流会を展開できる場所
4. ホームステイプログラム時の対面及び交流の場所

～子育て支援～

1. 引っ越してきた親子が市役所の手続きの後、長久手での暮らしをより豊かにするために訪れる場所
2. 親も子もホッと一息癒される場所
3. 親子に必要な対話を体感できる場所
4. 誰かが話を聞いてくれる場所

どこの団体のテーマにも属さない、目的を持たない、個人や団体へのアプローチをしよう。
→テーマは時代と共に変化する。が、いつの時代も長久手愛を育み、関係人口の発掘育成を行う。

資料編

リモテラスへの道 2019

リモテラス
かいわいの
おもしろさも見てね

2019

7月

とくにこれ！って何も
決まっていなくて！
とにかく、せめてだから
そこに居てみたい！
どんな出会いが
あるのかな...？

私も、私も、
気持ちよく！

リモテラス
グリーンアップ作戦
8/7(土)
朝 7時~8時

おかげのいんち
アイデアをいっぱい
いれて、じょうり
やってみよう。

やってみよう
に
いってみよう
カンカン照り
12(金) 10-13
夕涼み
26(金) 16-19
お月さん
19(金) 19-22

他団体主催イベント
や行事にも、参加
してみよう。

みんなのチャレンジ！
7/6(土)
モンタウへようこそ
(映画上映)
7/13-14(土・日)
長手マリスエ(映画上映)



8月

どんな人が、どの時間に
いる？ 歩いている？ お散歩は？
夏木目だし、暑い、外には
出てこないかな？ 子どもたちは
どこで遊んでいるのかな？

リモテラス
グリーンアップ作戦
8/3(土)
朝 7時~8時

8月から！ おはようさん！ モテますよー
8/9(金) 6-9

やってみよう
に
いってみよう
カンカン照り
12(金) 10-13
夕涼み
30(金) 16-19
お月さん
23(金) 19-22

みんなのチャレンジ！
8/24(土)
★長手夏まつり(映画上映)
『おは！』やーしき
...00...



9月

少しづつ、
あつめてきてくれるように
なりました。また色々な
アイデアをだてん生まれそうです。

リモテラス
グリーンアップ作戦
9/7(土)
朝 7時~8時

やってみよう
に
いってみよう
カンカン照り
27(金) 10-13
夕涼み
6(金) 16-19
お月さん
13(金) 19-22
おはようさん
20(金) 6-9

みんなのチャレンジ！



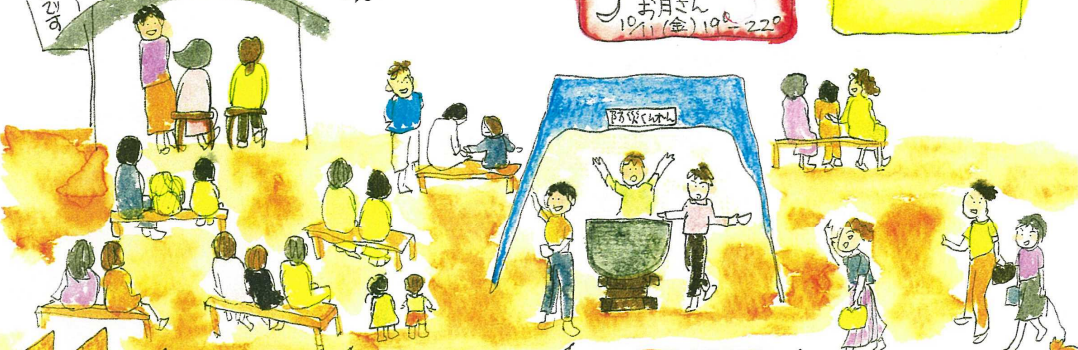
10月

居あわせた人か
つながって、雑談
の中から何かか
はじまる！
時に、こんなバ
ンとやってみると、
はじまりがわかる
...予感。

リモテラス
グリーンアップ作戦
10/5(土)
朝 7時~8時

やってみよう
に
いってみよう
おは！ま
12/5(金) 10-13
夕涼み
18(金) 16-19
お月さん
19/1(金) 19-22

みんなのチャレンジ！
10/5(土)
イオンネマにて
映画会 13:00~
いも煮会
& 15:00~



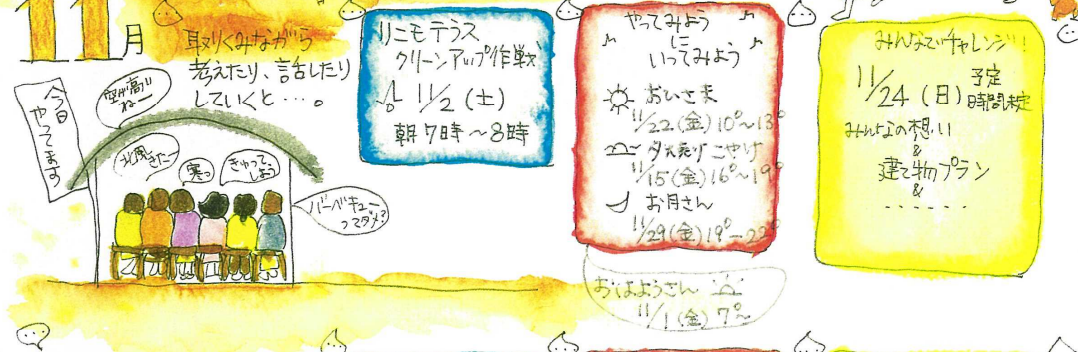
11月

耳をくみながら
考えたり、言えたり
していくと...

リモテラス
グリーンアップ作戦
11/2(土)
朝 7時~8時

やってみよう
に
いってみよう
おは！ま
12/2(金) 10-13
夕涼み
15(金) 16-19
お月さん
19/23(金) 19-22

みんなのチャレンジ！
11/24(日) 時間未定
みんなの想い
& 建物プラン
& ...



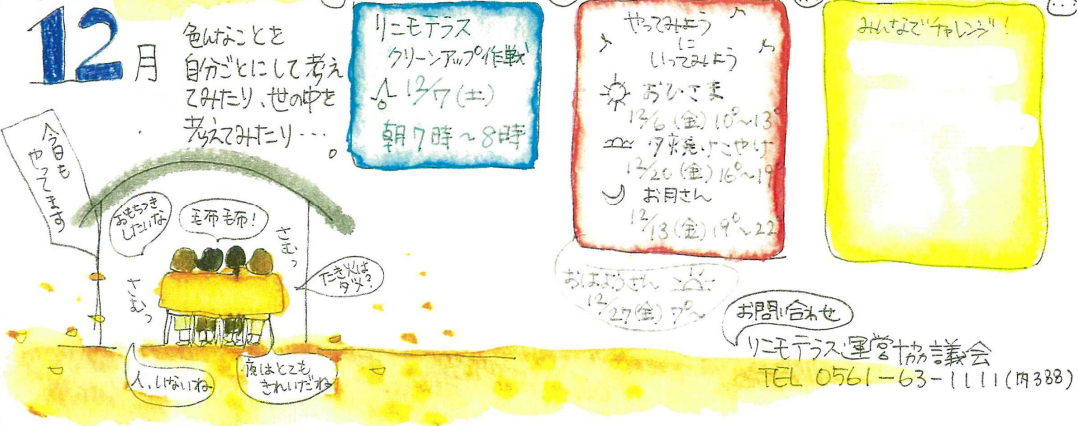
12月

色々なことを
自分ごとにして考え
てみたり、世の中を
考えたり...

リモテラス
グリーンアップ作戦
12/7(土)
朝 7時~8時

やってみよう
に
いってみよう
おは！ま
13/6(金) 10-13
夕涼み
20(金) 16-19
お月さん
12/13(金) 19-22

みんなのチャレンジ！



お問い合わせ
リモテラス運営協議会
TEL 0561-63-1111(内388)

やってみように行ってみよう

2019.7.12（金） 10：00～13：00

カンカン照り

リニモテラスのかいわいでワイワイ日記-1

前日まで雨の予報が名前の通りの『カンカン照り』になった。

草ばーばーの建設予定地。昨日までの雨で土はドロドロ。

ちょうど真ん中のまだカラッとしているところに持参のシートを敷く。

10：00 ちょっとすぎ五色園からのバスから 15 人ほどの人が降りたかと思うと皆さんこぞってイオンへ。五色園は買い物難民だと昔聞いたことがあったな。

運営協議会で購入した TENT を張ると途端により注目を浴びる。

思った以上に自転車や徒歩で古戦場駅に向かう人が多い。

「おはようございま～す」と声をかけると挨拶を返してくださりながら何だろうという表情。さっ
と行ってやってみようのチラシを渡す。

「へ～ふらっと寄れるところができたらいいわね。今日は急いでいるけど今度寄るわね」

「俺たちは毎月第二金曜にイオンのコメダで会社の OB が集まってコーヒー飲んでんだ。俺たち金あ
るで建設費出したろか～わっはっは（冗談かいっ）」

いろんな人がいるな…

そこにたつせがある課の布川さんと長江さんが木の椅子を運んで来てくれた。

シートに座るとばーばーの草でまわりから見えにくいから椅子があるといい。

11：00 を過ぎると 1 歳から 2 歳くらいかな？の親子が 2 号公園の噴水に遊びに来た。

お着換え持参のその男の子は目をぎゅっとつぶって高く上がった噴水にキャッキヤ言いながら突進
していく。一緒に来ていたお父さんにチラシを渡した。そのお父さんとは次の日もばったりとお会
いしてご挨拶したが、お母さんは生まれたての赤ちゃんを連れていたのでどうやらお父さん育休中
らしい。

そのあと、二組のお母さんと女の子の親子が噴水の反対側で別々で遊んでいる。

チラシをもって行き二人のお母さんに同時に話しかけると、二組はじわじわと近づき話を聞いてく
れた。そのあと二人が少し話をしていた。

何かのきっかけにリニモテラス（仮称）がなるといいな。

布川さん長江さん美貴さんと土地整理組合にご挨拶。青山みねおさん、組合長の山田三行さんと一
緒に 2 号公園や建設予定地を見ながら意見交換。すると、みねおさん「昼から飯食ったら草刈り機
で草刈ったるわ」文字通りカンカン照りの中 16：00 まできれいに草刈りやっていただきました。

来週の 7/19 10：00～22：00 のお月さんはみねおさんちの青山酒店のサッポロ黒ラベル生あけてお酒
も飲める時間になりそうです＼(^o^)/

みなさんふらっと寄りませんか？

やってみよう第一回目は総勢 25 人くらいの方とお話できて次も楽しみになったそんな感じでした
ただ、草刈りで全身筋肉痛と日焼け止めクリーム使用量が半端ないぞ（笑）

（お話した人 25 人）

記録 観光交流協会 関根千寿

やってみように行ってみよう

2019.7.19（金）雨のため中止

お月さん

リニモテラスのかいわいでワイワイ日記-2

前はなんとかお天気に恵まれましたが、今回は残念ながら雨のため中止。

チラシを配布しているため、たつせがある課の布川さんと長江さんが中止の立て看板を建設予定地に立てかけに行ってくださいました。

その時男性の方が近づいていらして

「ちょっといいですか？公園にこのような禁止の立て看板はいかがなものかと…。海外に赴任していたこともあるのですが、このようなものが公園にあるところはないですよ。」

というご意見をくださった方がいらしたそうです。

この男性のお話を聴いてくださった布川さんは大変考えさせられたとお話してくださいました。

看板の文言は否定的な禁止言葉ではなく、そこで気持ちよく暮らせるための心あるご案内の言葉を考えなければならないと感じたと教えてくださいました。

この男性のように感じたことを言葉にして聴かせてくださる方はきっとたくさんいらっしゃるのだと思います。

この時お二人がいらしたのでふっとお話しくださったのでしょう。いらっしゃらなかったら些細なことかもしれませんが、すこしずつ積み重なって不満になってしまうかもしれません。

きっとこの男性はお話しされたことで、今度は一緒に考えてくださる仲間になるかもしれません。

そこにいて、こういうことなのかもしれませんね。

記録 観光交流協会 関根千寿

やってみように行ってみよう

2019.7.26（金） 16：00～19：00

夕涼み

リニモテラスのかいわいでワイワイ日記-3

夕方と言っても昼間と変わりなく暑い。この前の梅雨の合間の長久手マルシェの荷下ろし場所になっていた建設予定地は、その時のタイヤ痕がついたままカラっからに乾いてでこぼこになっていました。雑草は2週間ではまだ気になるほど生えておらず草抜きはしなくてよさそう(^^)

2号公園の噴水には園児や小さな子ども連れの親子が5組。チラシをもって遊びに混ぜてもらおう。

お話を伺うとみなさん近隣の豊田、尾張旭、瀬戸、みよし、名東区の親子でびっくり！聴くと

「長久手はいいですね～小さい子の遊ぶ場がいっぱいあって。」

「保育園のお迎えのあと買い物のついでに遊びに来ています。3人いて大変だけど、ここで体力使ってもらわないと帰って大変だから。」

「子どもたちは水浴びてるからいいんだけど私たちには屋根がほしいな～」

「お姉ちゃんが夏休みに入って手術して保育園休んでるからここで妹と遊ばせてるんです。」

17時前になると2号公園のステージで少し影ができる。その影を利用して小さくかがんで子どもたちの着替えをして、イオンで買ったおやつを食べて、「またね～」ってみんなが家に帰る。

二人の兄妹が「おばちゃんあげる…」とおやつをくれる。

小さな子どもがいなくなると今度はさっきまで階段でお菓子食べたりバドミントンしていた男子高校生が5、6人噴水を囲んでビーチボールでバレーボールを始めた。うまくやらないと噴水にビシヤリ。楽しそう(^^)小さい子が帰るの待ってたんだな～噴水も住みわけがされているんだね。

観光交流協会の男性職員杉山さんが男子高校生のところに話に行く。中部第一高校2年のサッカー部のメンバーが部活終わって家に帰るまでの時間を過ごしていた。19時に私たちが片付けてからもなお遊びはつづく・・・長江さんが一言「気持ちわかるな～帰ってもなんもないし友達と遊んでるの楽しいし…」 私たちも持参したバドミントンや風揚げで遊ぶ。風は風があったからわりとあがった。みんながなんだろう…って見ている。数人の大学生らしき人たちに「風一緒にあげませんか？」と声をかけると「やります！」と元気なお返事。聞くと名古屋外国語大学の学生さんで町の農園をやってらっしゃるゼミのみなさん。先生は長江さんがよくご存じでお話できてよかった。農園を通して地域の方との交流をお手伝いされてるなんて、ここにもまちづくりをしている仲間発見です。2回やってみたけれど、やっぱりここが何をしているところなのか、なんか粹な文言で看板か旗のようなものがあってみなさんから声がかけやすいアプローチを考えないといけないなと感じます。18時を過ぎると風もあって涼しくなってきた。イオンの明かりも少しずつ光りだす。空を見上げるとカラスも帰り支度。そこにキラキラ光るリニモが走る…なんだこのまち。素敵じゃないか☆

「ここってこんな場所でした??」「なんていい場所なんだろう…」コロちゃん（犬）の散歩に協会スタッフ齋さんがやってきた。シャンプーしたての美貴さんちのゆるりちゃん（犬）もみゆちゃんゆいちゃんとやってきた。「あそぼうよ」とコロちゃん。それを恥ずかしそうに逃げ回るゆるりちゃん。初めての夕涼み。リニモテラスの夏の18時ごろは黄昏るのにぴったりの場所です。

（お話した人 31人）

記録 観光交流協会 関根千寿

やってみように行ってみよう

2019.8.2（金） 10：00～13：00

カンカン照り

リニモテラスのかいわいでワイワイ日記-4

『一人で立てられるテント』って商品名にはあるけれど、ちょっとまだ慣れないからか難しい…うーん…うーんと片足でテントの足を抑えながら広げてはみたもののパツとはいかない。諦めて誰かに手伝ってもらおうと辺りを見渡してみてもこんな時に限って誰も通らない。しょぼくれていると遠くイオンに入ろうとしている少年らしき二人が！

「すいませーん！そこの二人のおにいさーん！」で、二人立ち止まり「すいませんを急いでますか？」に「急いでません！」と真面目な表情で答えてくれてテント張りを手伝ってくれました。聞くと市内南中のソフトテニス部の中学一年生。今日は映画ワンピースのチケットを買いに来ただけなので急いでないとのこと。覚えてたの敬語で一生懸命答えてくれました。

今日は植樹祭でもらった木の長椅子にペンキを塗ります。外で使うのでもしもの時の雨でも対応可能なように準備です。カンカン照りなのでペンキもよく乾きます。

途中休憩しながら作業していると、通りがかりの男性が、「帽子かぶらんといかんよ～帽子～」と自転車に乗りながら頭に手を載せゼスチャーで声をかけてくれた。

ここでなにかしているとやっぱりみんななんらか気にしてくれる。

時間はかかるかもしれないが、ここを通った人が自らなんらかの発信をして主体的に関わってくれるようになるといいなと思う。

あまりにも暑すぎて頭が回らないけれど、余裕ができたなら看板なり、残りの椅子なり皆さんを誘って一緒に作業できるといいな。

運営協議会のメンバーで設計士の久保さんも、建物の建設自体自分たちでできることはやれるように考えてくれているという。

誰もがふらっと立ち寄れる…そこで何か役割があったらな…

自分もなかなか捨てたもんじゃないって思える、そんな場所を作りたいですね。

（お話した人 17人）

記録 観光交流協会 関根千寿

やってみように行ってみよう

2019.8.9（金）6：00～9：00

おはようさん

リニモテラスのかいわいでワイワイ日記-5

朝6時。おてんとうさまがまだイオンの建物に隠れている。

日中のように暑くはないけれど涼しくもない。

8/9はお盆休みに入るのか、大学の試験が終わり実家に帰省するのか、大きなスーツケースをガラガラと古戦場公園駅へ向かう人が何人かいる。犬の散歩をする人もちらほら。行き交う人はまばらです。いつものようにテントを張ってゴミ拾いから始めようと辺りを見渡すと二号公園にゴミの山。近づいてみると何本も飲み干したペットボトルに、機関銃の形をした割と大きな水鉄砲。お菓子の袋にあちらこちらにタバコの吸い殻がたくさん。トングで拾ってまわると大きなゴミ袋いっぱいになった。夜中に二号公園でどんなことが繰り広げられているんだろう…。

想像するととっても楽しそうなのだけれど、ゴミは勘弁願いたい。

一応たくさんのゴミはコンビニ袋に入れられてひとかたまりにして手すりに引っ掛けてある。

もしゴミ箱があったらちゃんとゴミ箱には入れるだろうけど、持ち帰ることはしないだろうな。

どうしたらゴミを持ち帰ってくれるのかな…。そんなこと考えながらゴミを拾う。

ひと段落してコーヒータ임。熱湯をポットに入れて一杯用のドリップコーヒーを持参した。

カップも陶器のものにする。朝日を10分浴びると健康にいいらしい。朝日を背に浴びながらホットコーヒーをいただいていると車の人がジロジロと気になる様子。

この時間コーヒー飲める場所ないから、カフェが6時ころから開いてるといいだろうな。

とっても贅沢な時間が過ごせました。こんなことでもないかぎりここでこんな風に優雅な時間はおくれなかつただろうな～

そこに朝のお散歩中の男性が寄ってくださいました。

「最近なんかゴミ拾ったりしてるみたいだね。何してるの？」やってみようのチラシを渡して聞くとご近所にお住いの丸根の青山さん。「丸根は青山さんだからそのうちの一軒だよ」おすすめしたお水を一口飲んでまた散歩に出かけられました。

最近のこのリニモテラスで行われていることは、みなさん気にしてくださっているみたいです。

続けていくうちにいろんな方と知り合いになれそうで楽しみです。

そろそろ9時になると男子中学生が何人も自転車に乗って日進のほうからやってきた。

映画ワンピースをみんなで観るらしい。最近日進では長久手イオンモールのことを『ながいも』と呼んでいるそうだ。ながくていおんも一るの略らしい。

夏休みだからかここにいると普段会えない年代の人ともたくさん会えておもしろい。

今日も一日また暑くなりそうだ。

（お話した人 9人）

記録 観光交流協会 関根千寿

やってみように行ってみよう

2019.8.30（金） 19：00～22：00

おつきさん

リニモテラスのかいわいでワイワイ日記-6

今日も雨。7月からはじまったやってみようだが、おつきさん（19：00～22：00）だけが雨で開催されずにいる。16時の時点でやみそうにない土砂降りなので中止に。が、18時すぎから降ったりやんだり。19時半には完全に雨があがった。いろんなところに配り始めたやってみようのチラシ。もしかしたら覗きに來てくれている人がいるかもしれない。ちょっと行ってみよう。この時間に通る人はどんな人がいるのかな。

イオンの明かりがきれいなリニモテラスかいわい。
雨だったこともあって人はまばら。でもやっぱりいました！
一組だけ2号公園の噴水であそぶ親子。年齢は一才半くらいかな？
お母さんが噴水のまわりをトコトコ歩くお子さんをカメラで撮影している。
お母さんの後ろではお子さんの表情がよく撮れるようにおばあちゃんがお孫さんと呼んでいる。ちょっとおばあちゃんに話しかけた。
「貸し切りの撮影スポットいいですね～今長久手フォトコンテストやってるのでぜひ出されたらどうですか？」
「実は…それに応募するために撮ってるんですよ～」
と、偶然にびっくりしていろんなお話につながりました。
そこに友人のTさん。
「イオンの中の習い事に子どもを送ってから迎えに行くまでにちょっと寄ったよ。この前やってみようのチラシもらったから来たよ。」とこれもまた偶然に参加者の人と会えました。少しの時間でも来てみて良かった。こんな風に少しずつやってみようにきてくれる人が増えて関心をもって一緒につくっていけるといいな。 つづく

（お話した人 4人）

記録 観光交流協会 関根千寿

やってみように行ってみよう

2019.9.6（金） 16：00～19：00

夕涼み

リニモテラスのかいわいでワイワイ日記-7

今日はよく晴れていいお天気。台風が去った影響で風揚げには最適な風も吹いている。テントを立てて持ってきた風を鼻歌交じりにあげようとしたら…2号公園にスケートボードを抱えた青年二人！どうしよう！！2号公園はスケボー禁止だし、苦情も出ていると聞いている。それは夜中の話だと思っていた。こんな夕方にスケボーするの？

ドキドキしていると二人はスケボーを始めた。どうしよう…私は大人だしダメなことはいけませんと言わなくちゃ。でも今は誰も人がいなくて二人だけ。危ないわけじゃない。でもな…言うなら早く言わなくちゃ。どうやって言おうかな。「ここはスケボー禁止ですよ～」ってへらへらして言う？「あっ！ここスケボーダメですよ～」と教えてあげる風に言う？あ一時間だけが過ぎる～と思いながら風を揚げていると一人が緑道までスケボーでやってきた。これはそのときの会話です。

「こんにちは。スケボー面白い？（って何言ってんだ？）」

「はい。めちゃくちゃ面白いっす。」ニコニコと話してくれる。怖い子じゃなさそう。

「そんなに？あたしもさ～風揚げが大好きなのよ。でもなかなか上手く揚がらないわ。そこで練習してて上手くなる？」

「なかなかやるとこないんで、怒られながらやってます。」

「そう。怒られてるのね。でもさ、小さい子がいたら危なくないように中断したりまわりのこと気にしながらやってるんじゃない？」

「はいそうですね。」

「庄内緑地公園とか豊田かどっかにスケボーの場所ができたんじゃない？」

「はい。でもちょっと遠いですね」

「そうか。学生さん？」

「フリーターです。ちょっとこれ見てくださいよ。（と、コルセットをした左のひじを見せてくれる）スケボーやっててケガしてこの前まで入院してたんですよ。」

「え？？それでもやってるの？恐くないの？」

「本当に楽しいしおもしろいんですよ。」

「そう～好きなことがあっていいね。けどお母さん心配してるやろから気をつけなよ。」と言ってリニモテラスの話をしてチラシを友達の分と2部渡した。

それから私は風揚げを一生懸命にした。するときれいに風が大空に揚がった。

「揚がった～」とスケボー青年を見ると遠くから手を振って親指を立てて喜んでくれた。なんとなく問題を先延ばしにしたみたいだけれど、まあいいか。話すと話さないとではぜんぜん違う。また次はもっといろんな話ができるといいな。

今日は初めて市民のIさんが参加。そこへたまたま通りかかったMさんもうっかり参加。

なんだかおもしろくなりそうな予感。（お話した人 5人） 記録 観光交流協会 関根千寿

やってみように行ってみよう

2019.9.13（金） 19：00～22：00

おつきさん

リリモテラスのかいわいでワイワイ日記-8

今日は中秋の名月。そして7月8月と雨で中止だった『お月さん』のはじめての日。

ここに来るまでの夕方のリリモテラスかいわいは、お月見泥棒で大賑わいでしたよ。何人かで自転車に乗って移動する小学生。お母さんと手をつないでよそのお宅の玄関先でお菓子の箱を覗き込む小さい人。まん丸いお月様も微笑んでいるようでした。

さて今日の前半はいつも文化の家で月に2回行っているリリモテラス運営協議会のミーティングをやってみように合わせて行いました。先週のやってみようにうっかり参加した市民のMさんも今日は最初からの参加で一緒に話し合いに参加しました。やっぱり部屋の中じゃなくて外だと解放的で盛り上がります。後半はやってみようの参加が初めての市民のHさんと先週初参加のIさんが合流しました。ミーティングも佳境に入ってきたので運営協議会のメンバーは緑道のベンチへ。

参加者の三人と一緒にテントのベンチに座ると早速初参加のHさんは「いったいここは何なの？」の質問を受け、リリモテラスのことをチラシを見てもらいながらお話しました。

「要するに誰でもふらっと参加できて皆さんどうぞってところなのよね。じゃあまずこんな敷地の真ん中にテント貼ってちゃだのううちの家族の団らんみたいに見えるよ。さっき向こうから見てたけどとっても入りにくい雰囲気だったよ。まずさ～テントはもっと緑道に近づけて…」と言いながら4人でテントを移動させる。「それからこの敷地のこんもりとした山を入り口くらい平らにできないの？そこにできたら黄色いシートなんて敷いて『ここからどうぞお入りください』みたいな看板立ててさ。なんかたくさんの人に開いていくならそれくらいやらなくちゃ。」ともしっかりご意見。その後仕事の話や子育ての話をして22時になった。話し込んでいたのであんまりまわりが見えなかったけれど、緑道のドーナツベンチのところどころに何人かの人が座って話していた。

割と小さなお子さん連れのご家族も。いつもこんなに人がいたのかな？明日から三連休だしお月様を見に来ているのかな？

その夜、「そういえばこんなことがあったのを思い出したよ。」と参加者のひとりが連絡をくれた。

「友達がこの前市役所に子育ての悩みを相談しに行ったんだけど、話がズレててマニュアル読まれてるみたいだった。どこに相談にいけばいいんだろうって。そんな人がリリモテラスって思ってくれるようになるといいね。」帰ってからも考えててくれたんだなと嬉しくなる。「でも、悩み事相談室みたいになると何もない人がふらっと立ち寄ることがしにくくなるのもなんか違うしね。リリモテラスに行けばなんとかなるって言うよりリリモテラスにも行ってみようってくらいがいいのかも…。ふらっと寄れるって言葉で言うより簡単じゃないね。」の言葉に身が引き締まる思いがした。『ふらっと立ち寄れる』ってどういう状態なんだ？！それはちょうど良くて、いい加減で、がんばりすぎないってことなのかな…？

みなさんはどう思いますか？

どんな場所だったら行ってみようかなって思うのかな？

（お話した人 3人）

記録 観光交流協会 関根千寿

やってみように行ってみよう

2019.9.20（金） 6：00～9：00

おはようさん

リニモテラスのかいわいでワイワイ日記-9

運営協議会のメンバー三人で朝6時からテントを立ててベンチに座る。

10/5は「人生フルーツ」の上映会と観た後、芋煮会を予定している。今回のイベントはこのリニモテラス公益施設（仮）のことをまだあまりご存じない方に知ってもらうにはどうしたらいいだろう？一緒に作るたくさんの仲間と出会いたいと計画した。

この場所が誰もがふらっと寄れるところになるために何が必要で大切なことって何だろう…

と何回かにわたり運営協議会で話し合った。その中で「人生フルーツ」はどうだろうと意見が出た。前に一度テレビでちらっと観たことがある。その時の印象は「暮らす」ということの奥深さだった。夫婦とは…家族とは…生きるとは…

いろんな見方ができて観た人のその時の状況によって感じ方も様々なんじゃないかな。

ぜひこの「人生フルーツ」を観たいと思う人と出会って観たあと、「あーだったね～こうだったね」と映画を真ん中に大きなお鍋で作った芋煮を食べながらいろんな人と知り合いになれたらいいな。そして映画に出てくる人が特別素敵なんじゃなくって、生きる人すべてに暮らしがあってももちろん自分もその一人で日常こそがかけがえがないと感じられるといいな。

リニモテラスが暮らしの延長線上にある場所になるといいな。

想像するとワクワクしてくる。

10/5たくさんの人と会えますように。

（お話した人 1人） 記録 観光交流協会 関根千寿

やってみように行ってみよう

2019.9.27（金） 10：00～13：00

カンカン照り

リニモテラスのかいわいでワイワイ日記-10

朝夕少しずつ過ごしやすくなってきたけれど日中はまだまだカンカン照り。

やっぱり夏休みのころよりも親子の数はめっきり減った。

親子といえば小さい赤ちゃんをベビーカーに乗せてイオンに買い物に向かう人が何組か。

その中の一人の赤ちゃんがベビーカーでぐっすり眠っていた。

「こんにちは。ぐっすり寝てますね～買い物はかどりますね。」

「私引っ越してきたばかりなんです…」

「あら。それは不安ですね。買い物終わって時間あったら草ボーボーですけどテント立てて居ますので帰り寄ってくださいね。」

1時間半くらい経ってイオンから出てきた。話しかけようとする赤ちゃんが泣いている。

「10 か月になって人見知りもあって…トイレに行きたいけれどこの子の機嫌が悪くてトイレにも行けない…」私が見ているからと公園のトイレを案内したけれど

「車に乗せてすぐだから家に帰ってからでいいです。」と。

あ～我が子も小さいころ買い物に行っても家でも後追いがあつたりでおちおちトイレにも行けない時期があつたな～。お母さんがこの長久手に慣れてきたらまた赤ちゃんも安心して暮らせるだろうな。

あ～ここに建物があつたら子育て中のお母さんがふらっとトイレにだけ寄ってもいい場所になるのにな。用を足した後、ちょっとお茶の一杯でも飲んで一息ついて「よし！また帰ってからこの子とがんばるかっ」って思える東屋になるといいな。

そのお母さん信号待ちの車の中から手を振ってくれました。

また会えるといいな。

（お話した人 8人） 記録 観光交流協会 関根千寿

やってみように行ってみよう

2019.10.4（金） 6：00：9：00

おはようさん

リニモテラスのかいわいでワイワイ日記-11

今朝方まで降っていた雨で予定地はあいにくのコンディション。

今日は緑道の丸いベンチに腰掛ける。

もうきっと寒いだろうと長袖を2枚持ってきたのだけれどまだ出番はなさそうだ。

「おはようございま～す」犬の散歩にいらっしゃるこの男性とは顔見知りになった。

6：30 をまわると通勤・通学でリニモを利用する人の数が増える。

「おはようございます。」「いってらっしゃい！」

朝はみなさん急がれているからお話は難しいだろうな…そんな中、

「今日なんかあるんですか？」と声をかけてくださった男性。リニモテラスの話をする、
「建物もいいけど芝生敷き詰めて広い公園にするといいよ。東京とかであるでしょ。ワンちゃんとかも入ることができてさ。まあ粗相のないようにだけは約束だけだね。そういうところあるといいよね。」とご意見を頂いたりした。

また別の方は、「今日はなにをするの？明日は映画やるんでしょ。うちの奥さん映画行くよ。楽しみにしすぎて先週勘違いしてイオンシネマ行っちゃったんだよ～」ってリニモテラスのことをご存じいただく方ともほんのちょっとずつ会えるようになってきた。

それにしても草ボーボーなのと看板も何もないのがやっぱり気になる。

そういえば先週の『やってみようにいってみよう』を遠くから見ていた人が、勝手にテントを立てて居るのかと驚いて通報されそうになったと聞いた。

明日は10月第1土曜日。クリーンアップの日だ。ゴミ拾いと一緒に何か皆さんへのご案内を参加者と一緒に作ることにしよう。

（お話した人 6人）

記録 観光交流協会 関根千寿

人生フルーツ上映会&芋煮会

リニモテラスのかいわいでワイワイ日記-12

リニモテラス運営協議会主催の映画「人生フルーツ」と芋煮会。

長久手市広報に掲載されてすぐは2～3人の方から申し込みがあったが、それからはぽろっぽろっと2週間、3週間経っても20人から増えない。175人が入るイオンシネマを予約していたけれど急遽100人定員のシネマに変更。

「あれ？すごくいい映画なのに…」

「上映前2週間でお金かかるけど新聞折り込みの広告入れましょう。」すると！

折り込みのその日9時前からひっきりなしに電話が殺到。事務局の観光交流協会のGさん。出勤してかばんを背中から外すこともできず背負ったまま1時間半…。

2日間で100枚が完売した。嬉しい悲鳴だがまだまだ電話は鳴り響く。

「よし！当初の175人の会場にもう一度変更だ！」それでもそれはまた2日で完売。

新聞の折り込みは長久手市に限ったのでこんなにこの「人生フルーツ」を観たいという人がたくさんいたことにびっくりと喜びでいっぱいになった。

でも問題はここからだ！

どうもみなさん映画「人生フルーツ」を鑑賞することだけが目的の人ばかりだぞっも
そもそもリニモテラスを知ってもらいたい。一緒に作る仲間を増やしたいと考えた企画だったのに…。「映画よかったわ～企画してくれてありがとう。」って帰ってもらっちゃあなんだかつまんない。「そうだ。電話申し込みが仮受け付けで上映日までに観光交流協会の事務所にチケットを買いに来てくださるんだから、その時にどれだけお話しできるかな！」

そこからはチケットをひっきりなしに買いに来てくださる方にやってみようといってみようのチラシや雑人号外をお渡ししてリニモテラスのことをご案内しました。

タイミングよく座っていただける方にはお茶を飲んでいただきながらチケットを切ってお名前や領収作業をしながらいろんなお話をさせていただきました。

中にはご自身の抱えていらっしゃる悩みをお話いただく方もいらっしゃいましたし、ご意見や叱咤いただく方もいらっしゃいました。

「階段が急すぎて汚いし、一体どうなってるの！！」とお叱り頂いた方には「申し訳ありませんでした。すぐ掃除します。」とほうきとちりとりですぐに掃いたそうです。すると

「あら…すぐやってくださったの？…ありがとう。」とおっしゃっていただいたり、

「そんな建物建てるよりNバスの本数増やしてよ。高齢になって免許の返納するのはいいけどそのあとどうしていったらいいのよ。」とご意見くださる方。黒のロングスカートに赤いブラウスのご高齢のお母様とお嬢様に「おしゃれですね～赤がとってもお似合いですね。」とお話が弾むと「わたし赤が好きなのよ。それじゃ上映会の日は上下赤で行くわ。」とチャームングにお話されたり。みなさん不便な協会に来てくださってお話を聴かせていただきま

した。

2019 年 10 月 5 日土曜日この日がいよいよやってきたー！！

12：50 には 100 人を超える長蛇の列。

「来たわよ～」と顔を覚えてくださって声をかけてくださる方が何人もいらっしやったり
「あ～！素敵な赤のワンピースで来てくださったんですね～素敵で～す。」と声をかけさせて
いただいたり、バタバタと忙しい期間ではありましたがまたお会いできて嬉しかった。

またこの次に会えるきっかけになる上映会と芋煮会になりますようにと祈りながら幕が開いた。上映前の副会長広中さんのパワーポイントを使ってのお話にみなさん大きく頷きながらじっくりと聴いていただけて一緒に考えてくださる手ごたえを感じた。

映画は文句なしの大満足な時間で残るは一体この中の何人の人が芋煮会会場まで足を運んでくださるか？

イオンシネマから 2 号公園まではちょっとある。駐車場からも反対側ということもあって心配していたが、なんと 156 人の方が芋煮を召し上がってくださいました。もちろん通りかかった方にも召し上がっていただけてリニモテラスのお話ことができました。

「映画よかったですね～。どちらにお住まいですか？」話が弾んで 30 分もおしゃべりした方もいらっしやったくらいです。芋煮が美味しかったこともあっただろうな～。

作ってくれたのは市国際交流協会と県立大学土鍋 net の学生さん。運営協議会のメンバーそれぞれが各々に参加者の皆さんとじっくりお話ししながらアンケートにも答えていただきました。メンバーはどなたとどんな話をしたのかな？次の運営協議会が楽しみだ。

児童養護施設キンダーホルトの職員で運営協議会のメンバーでもある T さんは校区運動会の準備で映画には間に合わなかったけれど芋煮会にたくさん子どもたちを誘ってくれて子どもたちも楽しんでくれたようだった。参加者の方から「自宅にあるお客様用の布団があるけれど使ってもらえないかしら。ホルトの前は通るんだけどなかなか入っていけなくて…。」と三ヶ峯の T さんとメンバーの T さんがお話していました。11/3 のホルトまつりもご案内。こうして気になっていたことや人と出会える時間になってよかった。みなさんそれぞれが思い思いにつながっていききました。さすがどなたも主体的でお力のある方ばかりだな～と改めて長久手の方の力強さを感じた。そこに居合わせた方とひとときお話をしてつながる。市長が「つながりだけはお金を積まれてももてるものじゃない。」とどこかに書かれていたけれど、それを今日実感した。自分がいいと思うことを一生懸命やっていることでそれが知らない間ににぎわいになっていく。

誰かのために…なんて薄っぺらじゃなくって 1 人ひとりが思うことを主体的にやっているとそれが結局は誰かの役にたっているっていうのがまちづくりでそれがリニモテラスなんだろうな。

今日は朝 7 時からクリーンアップ作戦でゴミ拾いから始まった長い一日だったけれど、リニモテラスと一緒に考える仲間になってくれるたくさんの人と連絡先の交換ができてゴトンと何かが動き出した音がしたようだった。

さあはじまる…。

記録 観光交流協会 関根千寿

やってみように行ってみよう

2019.11.15（金） 16：00～19：00

夕焼けこやけ

リニモテラスのかいわいでワイワイ日記-13

今月から夕方のやってみようの名前が夕涼みから夕焼けこやけに変わりました。

秋ですね。日中の日向は暖かでしたが夕方になるとやっぱり肌寒いです。

でも今日は参加する学生さんがいるので楽しみにしていました。

以前愛知学院大学の村田先生の授業（まちづくり、地域連携など）で市たつせがある課長江さんと一緒にリニモテラスについてお話したことがあったのですが、その授業を受けた学生さんからぜひ建設予定地でなべをやりたいと申し出がありました。通りがかった人となべを一緒に食べながらいろんな話がしたいというのです。これはやってみようと一緒にできるといい！と思いました。そこで昨日4人の男子学生さんが打ち合わせに来て12/20金曜のやってみようの時間になべをやろうと決めました。打ち合わせではなべの材料や何人分が必要かなどなかなか計画しにくいようでしたので、「じゃあ明日のやってみようがちょうど開催日と同じ夕焼けこやけだから参加してみても細かいことシミュレーションしながら決めるといいんじゃない？」だから今日はワクワクしていたのです。16時ちょうど学生のTさんが来て一緒にテントを立ててくれました。Mさんも合流してまずはこれまでのワイワイ日記を読んでもらいました。

以前の夕涼みでもあった2号公園のスケボーの利用者が今日も5人…。

「ねえ～あのスケボーやってる人たちになんて声をかけたらいいと思う？この公園ではスケボーで苦情が来ていて禁止なんだって。いつもこのことに頭を悩ませてるのよ…。ダメって言うんじゃないかって話がしたいんだけどな～」の私の悩みに「じゃあ僕たちのなべに誘ってそこでじっくり話してみたらいいんじゃないですか？」にハッとしました。そうだ！その通りだ！早速やってみようのチラシを持って二人はスケボーのお兄さんたちに「あの～僕たち今度ここでなべするんですけど来ませんか？」とあっという間にスケボー以外の通りかかった人にもなべに誘ってチラシ配りを終えました。「みんななべに参加するっていいよ！と、残っていたチラシも仲間に配るのだと張り切って持って帰りました。

スケボーの若者たちのことはずっとモヤモヤしていました。新しく市が作った『スベらない公園』の看板の前でイキイキとスベる若者たち。でも今日1人でモヤモヤしているだけでは到底到達できなかった次の一歩が見つかった気がして嬉しくなりました。これは普段なかなか出会えない愛知学院の学生さんと出会える授業に呼んでもらえる機会があったことがきっかけで、それは市と一緒にリニモテラスを作っていなければなかった話です。

見ず知らずの人と人が出会って知り合って化学反応が起きて思いもよらないことが起こっていく。それはもう誰かの手柄とかじゃなくて、最後そこにたまたま居合わせた人もそこまでの道のりで関わった人もそれを誰かに伝えただけの人もみんなが連携して起きること。

やっぱり人がつながるっていいな～面白いな。

リニモテラスはリニモ古戦場公園駅があって、バスターミナルがあって、古戦場公園があって、イ

オンがあって、そこに大勢の人が集まる。だからきっとそんな思いもよらない人との出会いがいっぱいあって、つながるってやっぱり心地いいって身体の根っこが喜ぶことができる場所になるだろうな～。

そんな場所ってほかになかなかないと思いませんか？

（お話した人 11 人） 記録 観光交流協会 関根千寿

やってみように行ってみよう

2019.11.29（金） 19：00～22：00

おつきさん

リニモテラスのかいわいでワイワイ日記-14

冬になって2号公園のイルミネーションが鮮やかでとてもキレイ。

写真を撮る親子連れにカップル。いつものようにゴミ拾いから始めようと準備していると何かを燃やすような嫌な臭い。タバコか？あたりを見回すと少年少女が集まって座っている。

ゴミ袋とトングを持ってゴミを拾いながら近づいた。今日もあるある…タバコのポイ捨て、ペットボトルに空き缶にお菓子のゴミ。それらを袋に入れてみると、

「何やってんの～！？」と女の子の声。こちらから見る限り中学生？という子もいればまだ小学生？という小柄な子も。金髪に染めた男の子2人は中学は卒業してるかな？でも年齢がわかりにくい。なぜならタバコ吸って缶チューハイを飲んでいる。男子5人に女子4人の9人の子どもたち。

「それってさ～仕事？仕事なの？」と聞いてきたので「仕事？うーんボランティアかな～？」と答えると「は？？金になんないことなんでやってんの？そんなのやんない方がいいよ！」

「え？そう？」「拾ったって無駄だよ！！あたしたちがまたゴミ捨てて帰ってやるから！！」うーん…。ちょっと話し方が普通じゃないな。幼いだけなのか…酔っぱらっているのか…それとも生きにくさを抱えた困っている子なのか…。飲んだ後の缶チューハイを「ゴミもらっていいかい？」の言葉に「いい。まだ遊ぶから～」と缶を蹴りだした。

緑道に座って様子を見ていて何か燃やしているのか火が見える。その後15分くらいでイオンに9人が入っていった。その後まず3人の男子が出てきてバスロータリー近くで遊んで帰って行った。そのあと6人が歩いて古戦場南の交差点を南へ歩いて行った。9人が座っていたステージ下の階段を確認すると、空の缶チューハイ2本と火が付いたままのタバコに吸い殻。それにめっちゃめっちゃに砕け飛び散った怪しげなライター2本の残骸。その横には引き裂かれた大きなマッチ箱と牛タンの生パック、それに何十本もの焦げたマッチ棒が山積みになっていた。もしかして紙やマッチ棒燃やして肉を焼いて食べるつもりだったのか？

スタッフ2人…。途方に暮れた。彼女たちの背景はどんなだろうか…。近くに話を聴いてくれる大人はいるだろうか…。なんとも言えない胸を締め付けられる思いがした。

今日は珍しくスケボーのお兄さんたちが一人もいない。あたたかい時には見かけなかったあの子たち。こんなに寒い日に人が少なかったから来たのかな？いつもどこにいたのだろうか…。

公益施設ができたならあの子たちはふらっと訪れるだろうか…。少人数だと話すきっかけもできそうだけど9人いると気が大きくなるのか、一方的な感じで会話になりにくい。あっ！チラシを渡して20日の愛知学院の学生さんの鍋に誘うのを忘れた…。しまった…。何もできなかった。

また次に会ったときに無駄なことをやっているおばさんたちを覚えているだろうか？

縁があったらまた会えるだろうか。もっといろんな人がいたらきっとあの子たちにとって良かっただろうな。あなただったらあの子たちとどんな話をしましたか？

（お話した人 11人） 記録 観光交流協会 関根千寿

おひさま

リニモテラスのかいわいでワイワイ日記-15

寒い…。木枯らしのような風がビューっと吹いていて寒い。

風が強いのでテントを張るのはあきらめた。10月の上映会と芋煮会の時に作ったリニモテラス公益施設建設予定地ののれんを下げて今日も開店。

今日は寒いので、熱湯の入ったポットとコーヒーと紅茶とお菓子も少し持参した。

早速岩作にお住いのMさんがのぞいてくれた。この建設予定地にたくさんの人が集まれるように協力するからね！と心強いお言葉を頂戴した。

同じく岩作のAさんも遊びに来てくれた。88才のAさんは一緒にゴミ拾いをしたり、通る人とおしゃべりをしたりした。出会う人の中で、Aさんと同年代の方とのおしゃべりは年代の違う私だと広がらなかったかもしれない。

Aさんと一緒だと話し込めて楽しかった。さすが大先輩！

ちょうど2号公園のまわりの緑を整備されているA造園さんが作業されていて、お十時に建設予定地のベンチにお誘いした。A造園さんも奥様がポットとコーヒーを持って来られていました。公益施設のことやお国の話をAさんと一緒にしました。

「今日は何があるんですか？」と声をかけてくれたイオンのカーブスに3回/週通う氏神前のYさんは、まちづくり活動やつながりを大事にされている方で、市からのワークショップや話し合いの案内がよく届くそうです。

ふらっと寄れてなんでも話せて、まちのことを語り合ったりすることを今から楽しみだとし、リニモテラスの公益施設の建設や機能に興味津々というご意見にパワーをもらった。

人にはいろんな暮らしがある。まちづくりに長年携わっている人には、この公益施設とまちづくりセンターと共生ステーションは一体どう違うの？と思う人もいるかもしれないけれど、引っ越してきたばかりの人や、ずっと名古屋でお勤めされていてやっとこれから暮らすこの長久手でまちづくりに参加してみようと思っている人やいろんな方がいる。そんな多様な人の暮らしにどんなものがことがピタリきてタイミングが合うかわからない。運よくイキイキと活動している人はよりつながりを深めてもらいたいし、まだ誰とも何ともつながっていない人には、ここがもしかしたらそのきっかけになるかもしれない。つながりの満足度は人によって様々だし、効果や結果が目に見えてあらわされるものでもない。

でもだからこそ敢えてつながることを大切にしていかなないと目で見えないだけでなく本当になくなるものになってしまうかもしれない。

ほおっておいても地域にコミュニティが存在していた昔とは状況が違うんだな…これが。

7月から始まった『やってみようにいてみよう』も半年が経とうとしている。一体どれだけの人がこの取り組みを知ってくれたのかはわからないが、確実に次の約束ができる仲間が増えてきた。来年に向けて残りの取り組みも愉しもうと思う。ぜひ！あなたがどう思うか聴かせてください。

（お話した人 8人）

記録 観光交流協会 関根千寿

やってみように行ってみよう

2019.12.20 日（金） 16：00～19：00

夕焼けこやけ

リニモテラスのかいわいでワイワイ日記-16

「こんばんは～あったかいお鍋ありますよ～」

「お鍋いかがですか～愛知学院の学生がお鍋作ってま～す。ちょっとあったまっていきませんか～」
今日は先月から計画していた愛知学院大学の学生とリニモテラスでお鍋をやってみよう！の日。

毎週のやってみようで特別なことをやるのは初めてでワクワクする。4人の男子学生が買い出しやコンロに鍋、看板やチラシを全て用意した。夕方のこの時間は古戦場公園駅のバスロータリーに各大学からのスクールバスが何本も乗り入れる。これも長久手らしい風景だ。4人はお鍋を作る人、チラシを配りながらテントに誘う人に分かれて集まって話すタイミングを待つ。2人…3人…4人…と数人のグループがテントに近づいてお椀を手にしてくれる。「これ…なんの集まりですか？」

「僕たち愛知学院の学生で、ここを通る人や地域の人と交流したいと思ってお鍋作ったんです。」
最初は『何??』という感じで近づいた人もいろんな年代の人がいることや、目的を聞いて安心されたようで笑顔でお話された。噴水前でスマホで動画を撮影していた中2の男子3人は会話がEnglishでびっくりしたが、長久手近郊に住む、喜婦嶽にあるインターナショナルスクールの生徒だった。今日はテストが終わってスターウォーズの映画を観るまでの時間You Tubeの撮影をしていたとのこと。3人はテントを立て始めたころからこちらを意識してくれていた。ここにいるよってちゃんとアピールしてくれていた。「僕たち友達同士だといつも英語だからみんなが日本語しゃべってるの初めて聞いたんだよ。」とお椀を手話してくれる。とっても楽しくて素直に気持ちを伝えてくれてもっと話したいなって思う3人だった。同じ長久手に日中いるけれどつながれてないのは寂しいことだと思う。地域の人とふらっと交流できると安心だろうな。今度会ったら声をかけよう。

就職が決まったと教えてくれた男子高3生の2人は2回目のお鍋が煮えるまでずっと話してくれていた。キャピキャピした女子高生のグループには4人の大学生、ちょっと声をかけづらそうだったがみんなから頑張ってこい！と背中を押され声をかけた。中には急いでいると断られたりチラシを受け取ってもらえなかったり、その都度テントに戻り意気消沈した学生を居合わせた全員で全力で慰めた。普段なら知り合わない学生と地域の大人がこんな風にその時の心の機微に寄り添い声をかけ合うことが、なんとも幸せな状況だなとあったかい気持ちになった。

1人でふらっと寄ってくれる人、たまたまイルミネーションを子どもと見に来た親子連れ、今日が1歳の誕生日だという親子に学生に夫婦…総勢40人の人とお椀を手話に交流できた。

今日は改めて人が集うのにやっぱり食べたり飲んだりするツールが必要なこと、そして学生の力の大きさを実感した。4人の学生は最初恥ずかしがりながらも体当たりで通りがかった人と交流をした。一緒にコラボしてやれたことで私自身とても気持ちが楽で心から楽しめた。一緒につくりあう仲間になれて頼もしかった。結構風があって寒かったけれど、日常の中のふとした立ち話に花を咲かせてくれたみなさんどうもありがとうございました。またやりたいです。

（お話しした人 44人）記録 観光交流協会 関根千寿

やってみように行ってみよう

2019.12.27 日（金）07：00～10：00

おはようさん

リニモテラスのかいわいでワイワイ日記-17

寒い！！なんて寒い朝！この冬一番の冷え込みだそう。

持参したポットの熱湯でコーヒーを入れて飲む。すると道路向こうの古戦場公園まわりをトングとゴミ袋持って散歩している人発見！ジャンパーに毛糸の帽子…おじいさんかな？おじいさんは拾ったものをじーっと見てゴミなら袋へ自然に帰るものなら茂みへ分別している。

むむ？！これは散歩ついでにゴミを拾っている感じじゃないな。ぜひお話したい！こちらに来ますようにと祈っていると来た！来た！あれ？思った以上に若い…。

「おはようございま～す！コーヒー飲みませんか？」

「いやっ結構です…」しまった急ぎ過ぎた。

気を取り直しここで誰もがふらっと立ち寄れる場所をつくりたいと、毎週この場所で何かやってみていること、私たちもこれからゴミ拾いをするを説明していると少しずつ会話がつながった。フリーランスでお仕事されていて1か月前に高山から引っ越されてきたそうでここが良いところならばご両親を呼び寄せようと考えていることを聞いた。

29才というと市の職員のNさんやKさんの顔が浮かぶ。まだ知り合いもないというのでぜひ二人に紹介したいな。消防団にも興味があるらしいからつながれるかもしれない。

勝手に長久手のお母ちゃん気取りで世話焼きお婆さんになって知っている限りの長久手の紹介をした。ここでもう一度コーヒーをすすめてみた。

「じゃあブラックでいただきます！」（やったー！）

コーヒーを飲みながら名乗り合い、連絡先の交換もした。

思いがけない出会いだったけれど、この長久手をすきになってもらえたらいいな。

ご家族もみなさんでこの長久手で一緒に暮らせるといいなと思う。

こういう気持ちが長久手愛とか郷土への愛着心っていうのかな。

今朝のような思いがけない体験をたくさんの人にしてもらいたい。

今日は2019年最後のやってみようだった。

7月からここで毎週倒れそうな暑い日も今日のような寒い日も3時間過ごしてみた。

ゴミ拾いをしたり、行きかう人とあいさつしたりチラシ配っておしゃべりしたり…。

どれだけの人にこのリニモテラスのことが伝えられただろう。

出会った人とのお話に一喜一憂したり、ちょっとした事件に凹んだり。

いろんな人と出会って話したことでそこに物語がうまれた。

出会った人との物語を書き記したいとはじめたかわいでワイワイ日記だが、なかなか感じたことを言葉にするのは難しい。それでもやっぱりいろんな人と話したいしその人を知りたいと思う。

2020年も新しい出会いにときめき、物語を紡いでいきたい。

（お話した人 2人）

記録 観光交流協会 関根千寿

平面プランの再提案

リニモテラス運営協議会

2019.10.25

令和元（2019）年度 リニモテラス運営協議会の目標は？

- ①建物の平面プランについて、市民の意見を反映し、「新しいつながりをデザイン」する役割と機能を実現するためにどんな平面プランが良いか協議会にて検討し、市へ提案する。また、それについて多くの市民への周知も兼ねて意見を求める機会をつくるため、イベントの企画・開催・実施と情報誌の発行・SNSを利用した情報発信・ホームページ運用を行う。
- ②役割と機能を実現するための運営・管理について検討し、具体的にどのような利用方法が考えられるかをまとめて、意見書を提出する。

目標①

建物の平面プランについて、市民の意見を反映し、「新しいつながりをデザイン」する役割と機能を実現するためにどんな平面プランが良いか についての検討プロセス。

難しかったポイント

自分たちだけが活動する場所ではなくて、「みんな」のための場所を、どう考えたらいいのだろう。
しかも、「公益」って、何をどうしたら「公益」を「達成すること」になるのか
正解はいまだ見つかってはいない気がする。

1 たくさんの意見から、 役割と機能を読み取る

- ①4団体がやりたい活動を4つに絞り込む
- ②今までの市民や団体の意見の集積を分析する

2 役割と機能を実行するための場所として、どうしたらよい？

- ①広さはどうする？
- ②運営管理に責任が持てるか？
- ③主体性をもってできる広さや形は？
- ④近隣施設や地域資源、公園との関係性を有効活用するには？

→グリット図を使用して敷地の広さから共有する

敷地に対する条件や制限

- 敷地面積 約 8 7 0 m²
- 建ぺい率 6 0 %
- 許容容積率 2 0 0 %
- 第一種住居地域
- 駐車場確保する台数（都市計画課）

3 建物的大小を考える

- ①敷地を1.5間（2730m）ずつに区切って（グリット図）、広さの感覚を理解してみよう
- ②役割と機能を実現するために、どんな空間が必要かつ可能かを考えてみよう

建物の周りに欲しいものは何か考える

- 木と木陰（シンボルツリー：大きい木と育てる木を両方植える）
- 土・畑（循環のサイクルを学ぶ）
- 水（雨水の利用と水道）
- 建物と外をつなぐ空間（縁側と土間）
- 入りやすい雰囲気（塀で囲わない）
- 風・光・匂い（五感を育む）

思えば、いろいろやってみた

- 平成29（2017）年度
 - * 100プロジェクト（*実施主体は違うが、実施内容や結果について引き継いだ）
- 平成30（2018）年度
 - * 隣人まつり（計8回延べ1576人参加）
 - * 関係団体へのヒアリング（24団体延べ102人）
- 令和元（2019）年度
 - * クリーンアップ作戦（7月～12月予定）
 - * やってみように行ってみよう（7月～毎週金曜日・雨天を除く）
 - * 長久手夏祭り & お化け屋敷（8月中央2号公園：近隣企業と大学連携との協力）

難しかったポイント

イベントに人がたくさん来てくれることはとても嬉しい。

でも、イベントをやることが目的化してしまっていて、結局、ひとり一人とつながることができない。

顔がわからない。・・・これでは、いけない。

しかも、イベントに来る人の半数以上が市外の人。場所の利点が浮き彫りになったことは良かった。

けれど、もっと市民の方たちと出会うにはどうすればいいだろう。

「つながり」を求める声はちらほら聴こえるんだけど・・・悩ましい。

私たちの今の想いを伝えてみよう

- 10月5日「人生フルーツ上映会＆芋煮会」開催
上映会参加者 159名（長久手市民が約9割）
うち芋煮会参加者 70名（アンケート回答者65名）



（スタッフ感想一部）

ご賛同の声にはげまされた。

期待する声にうれしくなった。

「つながり」は必要なんだと感じた。

「人生フルーツ」の内容に共感する人が多いことに驚いた。

顔を見て話すことは大切だと思った。

同じテーマをいろんな世代で話しあえるのは楽しい。

リニモテラス運営協議会主催の映画「人生フルーツ」と芋煮会。

長久手市広報に掲載されてすぐは2～3人の方から申し込みがあったが、それからはぼろっぼろっと2週間、3週間経っても20人から増えない。173人が入るイオンシネマを予約していたけれど急遽100人定員のシネマに変更。

「あれ？すごくいい映画なのに…。」

「上映前2週間でお金かかるけど新聞折り込みの広告入れましょう。」すると！

折り込みのその日9時前からひっきりなしに電話が殺到。事務局の観光交流協会のGさん。出勤してかばんを背中から外すこともできず背負ったまま1時間半…。

2日間で100枚が完売した。嬉しい悲鳴だがまだまだ電話は鳴り響く。

「よし！当初の175人の会場にもう一度変更だ！」それでもそれはまた2日で完売。

新聞の折り込みは長久手市に限ったのでこんなにこの「人生フルーツ」を観たいという人がたくさんいたことにびっくりと喜びでいっぱいになった。

でも問題はここからだ！

どうもみなさん映画「人生フルーツ」を鑑賞することだけが目的の人ばかりだぞっ

そもそもリニモテラスを知ってもらいたい。一緒に作る仲間を増やしたいと考えた企画だったのに…。「映画よかったわ～企画してくれてありがとう。」って帰ってもらっちゃあなんだかつまんない。「そうだ。電話申し込みが仮受け付けで上映日までに観光交流協会の事務所にチケットを買いに来てくださるんだから、その時にどれだけお話しできるかなね！」

そこからはチケットをひっきりなしに買いに来てくださる方にやってみようといってみようのチラシや雑人号外をお渡ししてリニモテラスのことをご案内しました。

タイミングよく座っていただける方にはお茶を飲んでいただきながらチケットを切ってお名前や領収作業をしながらいろんなお話をさせていただきました。

中にはご自身の抱えていらっしゃる悩みをお話いただく方もいらっしゃいましたし、ご意見や叱咤いただく方もいらっしゃいました。

「階段が急すぎて汚いし、一体どうなってるの！！」とお叱り頂いた方には「申し訳ありませんでした。すぐ掃除します。」とほうきとちりとりですぐに掃いたそうです。すると

「あら…すぐやってくださったの？…ありがとう。」とおっしゃっていただいたり、

「そんな建物建てるよりNバスの本数増やしてよ。高齢になって免許の返納するのはいいけどそのあとどうしていったらいいのよ。」とご意見くださる方。黒のロングスカートに赤いブラウスのご高齢のお母様とお嬢様に「おしゃれですね～赤がとってもお似合いですね。」

とお話が弾むと「わたし赤が好きなのよ。それじゃ上映会の日は上下赤で行くわ。」とチャームングにお話されたり。みなさん不便な協会に来てくださってお話を聴かせていただきました。

2019年10月5日土曜日この日がいよいよやってきたー！！

12：50には100人を超える長蛇の列。

「来たわよ～」と顔を覚えてくださって声をかけてくださる方が何人もいらっしゃったり「あ～！素敵な赤のワンピースで来てくださったんですね～素敵で～す。」と声をかけさせていただいたり、バタバタと忙しい期間ではありましたがまたお会いできて嬉しかった。

またこの次に会えるきっかけになる上映会と芋煮会になりますようにと祈りながら幕が開いた。上映前の副会長広中さんのパワーポイントを使ってのお話にみなさん大きく頷きながらじっくりと聴いていただけて一緒に考えてくださる手ごたえを感じた。

映画は文句なしの大満足な時間で残るは一体この中の何人の人が芋煮会会場まで足を運んでくださるか？

イオンシネマから2号公園まではちょっとある。駐車場からも反対側ということもあって心配していたが、なんと156人の方が芋煮を召し上がってくださいました。もちろん通りかかった方にも召し上がっていただけてリニモテラスのお話ことができました。

「映画よかったですね～。どちらにお住まいですか？」話が弾んで30分もおしゃべりした方もいらっしゃったくらいです。芋煮が美味しかったこともあっただろうな～。

作ってくれたのは市国際交流協会と県立大学土鍋netの学生さん。運営協議会のメンバーそれぞれが各々に参加者の皆さんとじっくりお話ししながらアンケートにも答えていただきました。メンバーはどなたとどんな話をしたのかな？次の運営協議会が楽しみだ。

児童養護施設キンダーホルトの職員で運営協議会のメンバーでもあるTさんは校区運動会の準備で映画には間に合わなかったけれど芋煮会にたくさん子どもたちを誘ってくれて子どもたちも楽しんできたようだった。参加者の方から「自宅にあるお客様用の布団があるけれど使ってもらえないかしら。ホルトの前は通るんだけどなかなか入っていけなくて…。」と三ヶ峯のTさんとメンバーのTさんがお話していました。11/3のホルトまつりもご案内。こうして気になっていたことや人と出会える時間になってよかった。みなさんそれぞれが思い思いにつながっていきました。さすがどなたも主体的でお力のある方ばかりだな～と改めて長久手の方の力強さを感じた。そこに居合わせた方とひとときお話をしてつながる。

市長が「つながりだけはお金を積まれてももてるものじゃない。」とどこかに書かれていたけれど、それを今日実感した。自分がいいと思うことを一生懸命やっていることでそれが知らない間ににぎわいになっていく。

誰かのために…なんて薄っぺらじゃなくって1人ひとりが思うことを主体的にやっているとそれが結局は誰かの役にたっているっていうのがまちづくりでそれがリニモテラスなんだろうな。

今日は朝7時からクリーンアップ作戦でゴミ拾いから始まった長い一日だったけれど、リニモテラスと一緒に考える仲間になってくれるたくさんの人と連絡先の交換ができてゴトンと何かが動き出した音がしたようだった。

さあはじまる…。

記録 観光交流協会 関根千寿

「つながり」は大切だし、必要だ。

- それを、伝えあうため、経験するため、にどんな建物がいいか。
- その建物を、想いととともに維持、継続する仕組み（運営・管理）をつくりたい。

難しかったポイント

「つながりなんか、いらない」「困ったときに声をあげればいいんだ」
そんな声があった。そう、押し付けられるのはまっぴらごめんって、わかる。
わかるけど、でもね、本当に困ったときほど、声が出せない。
そんなことをどうやってわかりあえばいいのか、悩ましい。

声が聴ける、声が出せる場所を作って維持するしくみ。これって「公益」？
・・・悩ましい。

平面プランへの再提案 1 / 3

• 1、平屋であること

→ * 目が行き届く、顔が見える

* 市民、素人の力で建築に関われる、修理できる可能性

* 床面積約 4 0 0 m²ぐらい

* 屋外との連続した関係性を保ちやすい（縁側・土間の利用）

平面プランへの再提案 2/3

・ 2、 木造であること（人工物ではない自然のものを使用する）

→自然のものは・・・

＊不便かもしれないが「人間らしさ」や「考えること」や「工夫すること」をセンス良く磨くことを学ぶ機会をくれる。また、その仲間を与えてくれる。

＊「壊れる、腐る」ことから「生命」を学ぶ機会をくれる。また、感動する心、感謝する心を与えてくれる。

＊「暮らし方＝生き方＝死に方」を学ぶ機会をくれる。また、どんなふうでも大丈夫という元気と癒しを与えてくれる。

平面プランへの再提案 3/3

・ 3、シンボルツリー、樹木、雑草、土、畑があること

→ * 自然の営みを体験することができる

「風が吹けば、枯れ葉が落ちる。

枯れ葉が落ちれば、土が肥える。

土が肥えれば、果実が実る。

こつこつ、ゆっくり。

人生、フルーツ。」・・・人も、暮らしもきっと同じ。

* 循環を学び体験することで「暮らし方の提案」ができる。

例えば、「ここは、ゴミを出さない施設です」から始める。

リユース・リサイクル・り〇〇〇。人もモノもコトも。

以上、3点を提案します。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

とは言え、まだまだ、運営や管理を具体的に考えると
意見が出てくるかもしれません。
引き続きご提案させください。

リニモテラス運営協議会